

8-6
No. 0-1

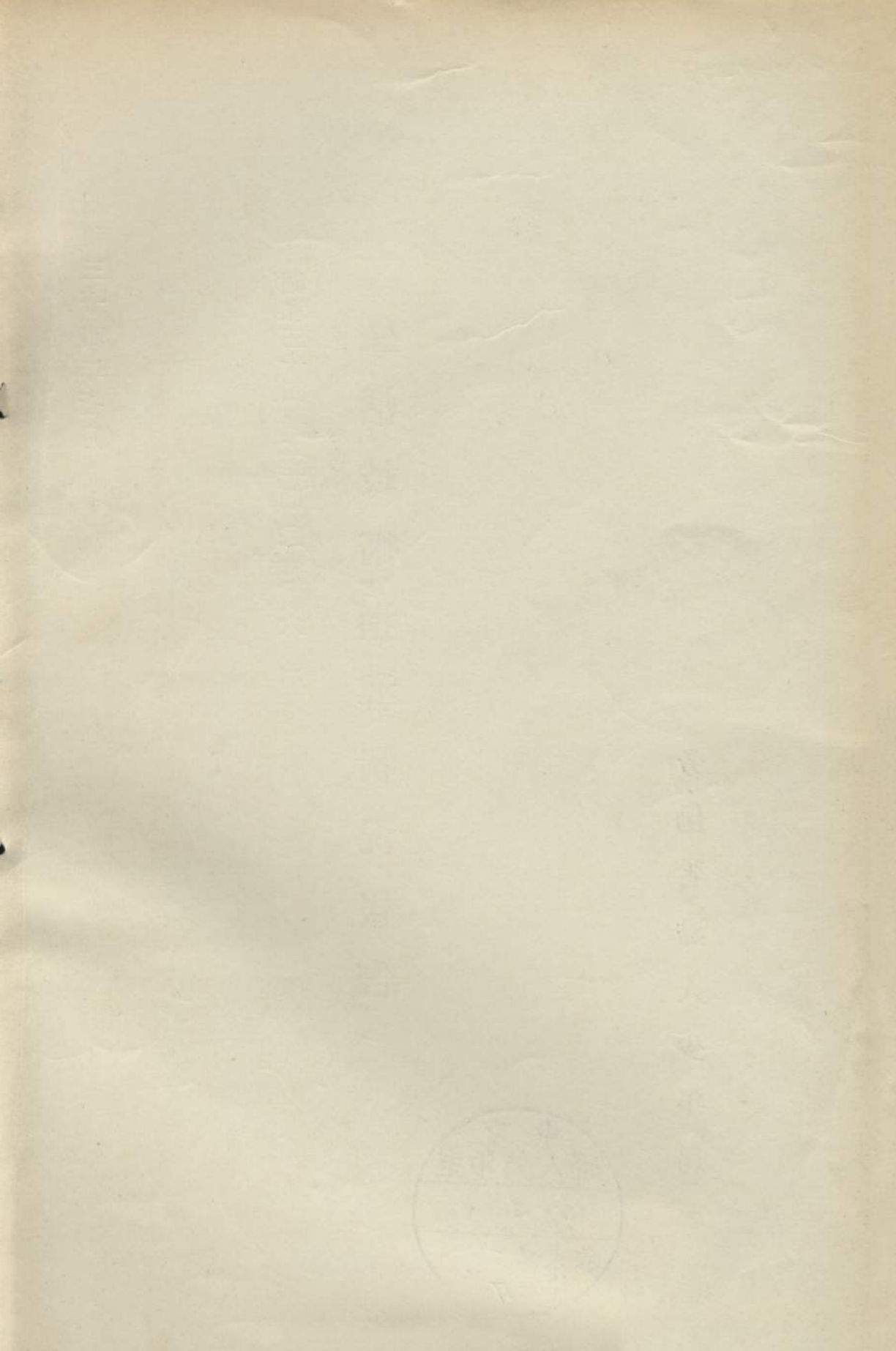
昭和三十四年七月

昭和三十四年上半年（二月—六月）

生活技術指導狀況報告

労働省婦人少年局





モデル地区における労働者家庭生活 向上のための技術指導計画実施要領

一 趣 旨

労働者が十分な生産活動を行うためには、労働者自身の福祉とともに、家庭生活の向上が求められるので、そのための施策の一助として、社宅等労働者住宅の密集地域における労働者家庭に対し、生活向上のために必要な技術について集団的、継続的に指導援助を行うものとする。

二 実 施 対 象

労働者住宅密集地域の中から選定したモデル地区における労働者家庭の主婦とする。

三 実 施 方 法

労働省婦人少年局は労働者家族の生活技術指導を担当する協助員を選任し、婦人少年室を通じて左の方法によつて指導を行うものとする。

1. 懇談会の開催

婦人少年室長は専任補助員とともにこの問題についての関心をたかめるため、労働者家族および関係事業所、労働組合等とモデル地区において懇談会を随時開催するものとする。

2. 専任補助員による技術指導

専任補助員はモデル地区に出張し、直接労働者家族に接して集団指導を行うものとする。

3. 連絡員

婦人少年室長はモデル地区に居住する労働者家族の中から特にこの問題について熱意をもつ有能な主婦を当該地区における連絡員として置くよう勧奨する。

四. 指導内容

家計、保健、衛生、家事作業、教養、娯楽、人間関係等、家庭生活に含まれる諸項目に關し、向上のために必要な知識の普及および技術の指導ならびに協同活動の育成指導を行うものとする。

五. 実施の時期

昭和三十三年労働者家族福祉運動期間中に懇談会を開催し、爾後継続的に技術指導を行うものとする。

モデル地区における労働者家庭生活 向上のための技術指導計画実施要領

一 趣 旨

労働者が十分な生産活動を行うためには、労働者自身の福祉とともに、家庭生活の向上のぞまれるので、そのための施策の一助として、社宅等労働者住宅の密集地域における労働者家庭に対し、生活向上のために必要な技術について集団的、継続的に指導援助を行うものとする。

二 実 施 対 象

労働者住宅密集地域の中から選定したモデル地区における労働者家庭の主婦とする。

三 実 施 方 法

労働省婦人少年局は労働者家族の生活技術指導を担当する協助力員を選任し、婦人少年室を通じて左の方法によつて指導を行うものとする。

1. 懇談会の開催

婦人少年室長は専任補助員とともにこの問題についての関心をたかめるため、労働者家族および関係事業所、労働組合等とモデル地区において懇談会を随時開催するものとする。

2. 専任補助員による技術指導

専任補助員はモデル地区に出張し、直接労働者家族に接して集団指導を行うものとする。

3. 連絡員

婦人少年室長はモデル地区に居住する労働者家族の中から特にこの問題について熱意をもつ有能な主婦を当該地区における連絡員として置くよう勧奨する。

四. 指導内容

家計、保健、衛生、家事作業、教養、娯楽、人間関係等、家庭生活に含まれる諸項目に因し、向上のために必要な知識の普及および技術の指導をうびに協同活動の育成指導を行うものとする。

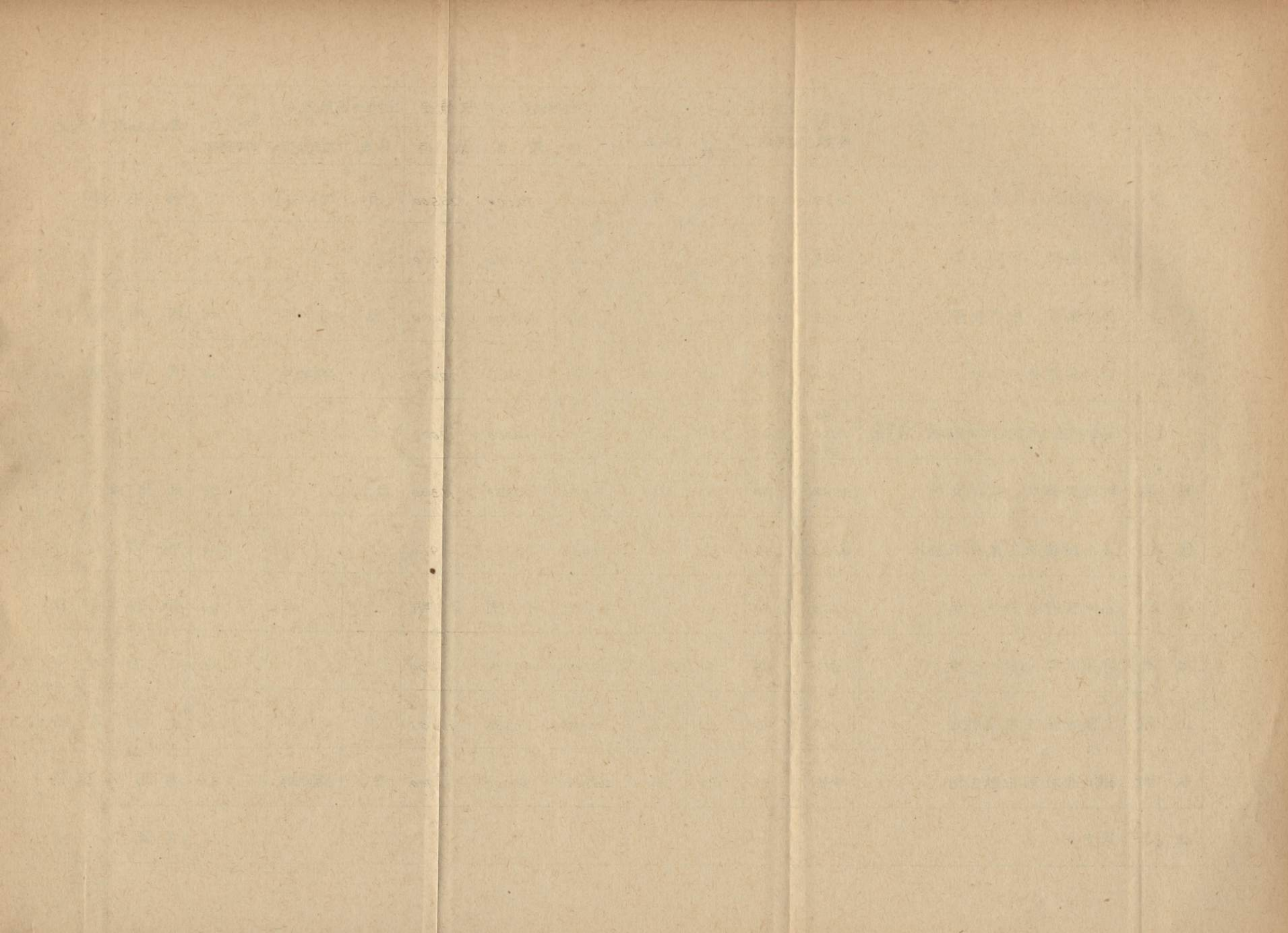
五. 実施の時期

昭和三十三年労働者家族福祉運動期間中に懇談会を開催し、爾後継続的に技術指導を行うものとする。

生活技術指導のためのモデル地区一覧

県 名	事 業 所 名	従業員数	対象世帯について		集会所の有無	モデル地区労働者の月収賃金			主婦会・家族組合		室からの所受時間	専任技術員氏名
			世帯数	平均家族数		平 均	最 高	最 低	有 無	加入状況		
北海道	住友金属鉱山、余市鉱業所	574	309	4.7	有	取) 27,303 坑) 23,130 坑外) 14,494	50,004 35,444 20,076	13,232 14,196 7,953	なし		分 230	山 口 浪 子
青 森	弘南バス株式会社	942	41	4.4	なし	22,600	35,250	10,100	なし		90	川 島 ミ サ
岩 手	東北電気製鉄 和賀山工場	767	48	4.1	有	21,666	31,500	8,917	なし		150	増 田 せ い
宮 城	東北金属株式会社	815	50	5.0	有	15,000	40,000	12,000	有	全員加入	不 明	坪 内 み さ 子
秋 田	秋田木材株式会社	796	71	4.0	なし	11,430	16,000	7,500	なし		120	小 松 ミ 子
山 形	日東金属鉱山、蔵王鉱業所	413	122	3.5	有	22,700	43,000	8,000	有	全員加入	120	高 橋 政 子
福 島	日東紡績、富久山工場	1,471	154	3.9	有	32,000	98,000	19,000	"	"	90	作 岡 フ ミ
茨 城	日立製作所、日立工場	5,858	279	4.9	有	25,000	46,000	17,000	"	"	80	石 垣 美 根
枋 木	高崎製紙、日光工場	820	110	3.5	有	19,000	40,000	15,000	なし		30	阿 久 津 英 喜
群 馬	白石工業、白艶華工場	257	40	4.0	有	18,000	32,000	12,000	"		120	細 谷 文 江
埼 玉	日本ピストリング手野工場	488	83	3.5	有	22,028	43,650	6,700	"		30	松 原 一 枝

[illegible]



県名	事業所名	従業員数	対象市帯について		集会所の有無	モデル地区労働者の月収賃金			主婦会家族組合		専任の所要時間	専任協助力氏名
			市帯数	平均家族数		平均	最高	最低	有無	加入状況		
静岡	本州製紙、岩瀬工場	261	74	48	なし	23,000	68,270	8,641	有	全員加入	65	望月さく江
愛知	大同毛織、稲沢工場	692	92	43	有	27,780	64,000	14,156	"	加入(89人)	50	長田久美子
三重	東亜紡織、泊工場	970	50	50	"	25,733	41,700	15,849	なし		55	島田みゑ
滋賀	東洋レーヨン、滋賀工場	5,726	97	25	"	18,000	20,000	15,000	有	全員加入	30	仙頭利子
京都	三菱製紙、京都工場	400	57	36	"	51,705	102,300	19,429	なし		40	林田富美
大阪	波本、第一府営住宅		100	40	"	17,000	40,000	9,000	有	全員加入	65	浦野住江
兵庫	小泉製麻株式会社	2,600	316	28	"	26,720	65,500	12,000	"	全員加入	30	花野正代
奈良	日本アスベスト王寺工場	328	120	3.0	"	I) 16,800 II) 29,300	65,200 68,100	7,151 10,270	不明		50	藤沢光子
和歌山	大和紡績、松原工場	586	76	45	"	23,100	56,000	15,171	なし		120	岡本かほる
鳥取	国鉄米子管理局鳥取駅	740	25	43	"	18,000	30,000	13,000	有	加入(13人)	25	萩野春子
島根	オーエム紡績製作所、大道工場	1,075	108	43	"	I) 22,521 II) 26,246	30,119 38,864	11,907 15,750	なし		45	押田芳枝
岡山	倉敷紡績、四日市工場	440	40	40	"	20,750	28,076	11,098	有	全員加入	30	岩崎美弥子
広島	三菱造船、広島造船所	5,332	45	3.6	"	35,000	70,000	6,000	"	不明	30	中村文江

(6)

県名	事業所名	従業員数	対象立寄について		集会所の有無	モデル地区労働者の月収賃金			主婦会家族組合		空ひつきの所受時間	専任協賛員氏名
			立寄数	平均家族数		平均	最高	最低	有無	加入状況		
山口	萩山炭鉱株式会社	480	360	42	有	26,000	34,000	9,000	有	全員加入	90	山田佐喜子
徳島	四国電力徳島支店											福田洋子
香川												川村季子
愛媛	片岡炭礦株式会社	1,058	48	33	なし	25,000	34,000	16,000	なし		10	和田スエ
高知	白石工業、土佐工場	204	47	30	有	16,000	24,000	10,000	有	不明	120	三木のふ子
福岡	麻生産業、麻生鉱業所	500	500	60	"	20,000	30,000	12,000	有	加入(420人)	160	真辻敦子
佐賀	杵島炭坑、杵島鉱業所	4600	3600	36	"	29,076	59,076	9,091	"	全員加入	124	服部テル子
長崎	深江炭砒、三浦砒	65	22	50	"	13,000	17,000	11,000	"	"	180	井手美須恵
熊本	中央紡績株式会社	556	39	40	"	不明	25,000	12,000	なし		50	成松ツマ子
大分	日本鉱業佐賀炭製錬所	1,900	1,663	不明	"	18,405	78,045	9,000	有	加入(975人)	90	石井美裕子
宮崎	旭化成、延岡工場	15,000	47	40	"	23,805	40,155	13,460	"	不明	不明	押川順子
鹿児島	国鉄西鹿児島工場	1,153	93	50	"	27,600	29,700	23,400	"	全員加入	22	岡きよ

北海道婦人少年室関係

期 日	指 導 項 目 及 び 内 容	出席者数	備 考
五月八日	一、社会の一単位としマの家族生活 二、支出に就いて 三、生活費の割合	三十六名	五十歳愛 地元担当補助員
六月二十五日	一、収入に就いて	三十二名	全 右

⑤

さきにモデル地区として選定したところが環境衛生地区に指定されていたので変更し、現モデル地区を選定したり生活技術指導を五月より実施

青森 婦人少年室関係

一月二十四日	新年懇親会 家計のいとなみと主婦のあり方	二十五名	
--------	-------------------------	------	--

期 日	項 目 及 内 容	出席者数	備 考
一月十五日	新年懇親会の後、「家計のいとなみ」を基にして講義の後、会員と種々の問題について懇談	二十五名	
二月十五日	家計のいとなみと家庭管理について「家計のいとなみ」を基にして講義の後、懇談（家計法のつけ方、必要性について）	十八名	
三月九日	家計のいとなみと交際について テキストにより説明・家計法のつけ方の指導 婦人廻向についてパンフレット配布 婦人廻向について 集団における他人について話し合い、歌唱指導	十八名	
	栄養問題と料理講習		

四月四日	栄養素反の力について講義の後実習	十三名	
五月九日	栄養問題と料理講習 栄養食の採取について講義をし、その後家庭料理実習試食する。	十九名	
六月十日	栄養問題と料理講習 辨当のお菓料実習したのち、栄養問題その他について懇談する。	十七名	
	安全についての家庭の役割について指導、後産業安全の歌唱指導		

岩手 婦人少年室関係

五月二十日	我が家の家計の上手なやり方 三十四年の日本経済の見通しとこの家庭経	三十五名	
-------	--------------------------------------	------	--

期 日	指 導 項 目 及 び 内 容	出 席 者 数	備 考
二月二十日	済に及ぼす影響 家計策をつける必要性について 家計策 予算の立て方（収入と支出）費目の分け方 例(1) 勤労所得の全国平均収入と支出について 之 例(2) 月収二二、〇〇〇円の鉄道員へ家族、妻、子供二人四女、一子への予算と月平均支出上手な収支のバランスのとり方以上講義 家計策 支出の中で特に全体のバランスをとるために増減出来るもの、一つとして食生活の上	二十六名	参考資料 一、婦人の友 三十三年十二月号 一〇〇円 参考資料 一、婦人の経済 大内兵衛著

手なやり方について

食生活費

栄養の点から見ても最低限度必要な一人一日分の食物の種類と基準量とその費用について、基準量をもとにした一日（朝昼晩）の献立表

右の材料を使つての調理方

目で見ると台所の材料のはかり方、米、麦、パン、肉、野菜、くだもの、水等四十五種の表

栄養素とカロリーの関係について

ビタミン類の上手な攝り方 以上講義

衣生活費

計画的な衣生活について

二十名

参り資料

新しい家庭のし

期 日	指 導 項 目 及 び 内 容	出 席 者 数	備 考
	家族全体の衣類の一年間の予算の立て立 新らしい合成繊維製品の種類とその選び方 教育費 幼稚園から大学までの概算について、公立、 私立、国立の学校の教育費の差について 交際費 見栄や義理をすまた新らしい交際のやり方 贈物の仕方 教養費 特に主婦の教養費を忘れぬよう、教養費を 余りかけないで教養を高める方法 読書グループの養成とその費用の捻出方 娯楽費		つけ 滑川道夫著 二五〇円

年次計画をたて予算をたてる。家庭全体で
楽しむ旅行の計画をたてるためにはどんな
方法がよいか。

家庭で出来る楽しみについて

保健衛生費

一年一回の健康診断の实行、予防注射を忘
れぬよう。

結核の定期診断の实行

主婦の年一回の健康診断を強調

燃料費

普通電灯と蛍光灯の電気使用量金の差、炊
事用燃料（家族、四、五人の一月分）の種
類とその費用ガス、プロパン、石油、電気
人などのむ時の費用

期日		指導項目及び内容	出席者数	備考
四月三十日	住み込、通い、巡回の場合 家具費 月賦をしまよい場合、悪い場合 貯蓄 収入と生活費と貯金のバランス 最低貯金額として生活費の一ヶ月分 貯金の種類とその利率、信託の種類とその利用法、保険の種類 税金 税金の種類と控除の種類、講義及び話し合い。	子供のしつけ 在来の子供の母親の子供の育ち方に対する	十八名	

五月三十一日

反省

今後母親の子供に対する新らしい考え方

幼児教育の重要性について

性格形成の時期とその指導、性格の種類に
よる適切な指導。話し合い。

生け花

盛花 投げ入れ

実習

児童期の道德教育

上手なしかり方について、上手なほめ方に
ついて

兄弟の問題

兄弟のある場合のしつけ方、独り子の場合
のしつけ、兄弟喧嘩のさばき

反抗期の問題

十八名

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
六月二十日	反抗期における児童の心理 反抗期における母親の心がまえ、話し合い おこづかいの問題 おこづかいを月ぎゆにしてみえ、よい時期と額 計画性のある使い方の指導 おだちんの問題 読書の問題 よい本、悪い本を送るにはどうしたらよいか。よい本を読ませるにはどうしたらよいか。その指導の方法、良い本に興味を持たせるには、子供に本を送ばせよう。 映画の問題	三十一名	参考資料 小学生の心理 波多野勤子著 二八〇円

なるべく一人で見ないよう指導する。良
い点、悪い点を母と共に話し合う習慣を持
つよう指導する。

子供の健康

ふだんどんな用心をしたらよいか。

睡眠、便秘、運動、睡眠、栄養

性教育

女兒の初潮の上手な説明、性と罪悪感を結
びつけないように指導、植物を例にとつて

青年男女の交際について

ほのかな恋愛期の問題、親の心づかい、家
庭を男女の交際の場合に話し合い。

宮城県婦人少年室関係

期 日	指 導 項 目 及 び 内 容	出席者数	備 考
一月十二日	年間の生活設計についてマの心構え初顔合せのための料理実習	六十四名	
二月二十日	モデル地区における生活についてマの調査主婦の生活態度についてマの話し合い	六十八名	
三月十三日	衣生活玄めぐつマ 一、洋服地を使つマの着物の裁ち方縫い方 二、セーターの再発 三、古ナイロン靴下(男、女物)の利用 四、小布の利用	六十六名	
四月十七日	毛織物の家庭簡易クリーニングの実習生活表の記入		
五月二十日	料理の実習 栄養の話し(カロリー計算等)	三十九名	

秋田 婦人少年室関係

(19)

二月十日 午後七時より 九時まで	モデル地区生活指導についての趣旨説明 指導について打合せ (日時、集会場所、指導にあたっての希望) 打合せ事項 ① 集会日時は、昼は共稼ぎ(行商日雇)が割合多いので、毎月一回電休日の夜が都合よい。 ② 最初はレクリエーション的なものから、だんだん学習に入りたい。	十一名	
二月二十五日 午後七時より 九時まで	一、映 写 い 母親学級騒動記 (2) 杖杖工の一日 三、話し合い	十四名	映写は能代市教育委員会より

期 日		
指 導 項 目 及 び 内 容	○ 働く御主人に対し、家族はどのように協力したら、よいでしょうか ○ お母さんたちが、会に出席する場合家族はどのように協力してありますか 三 主婦の生活についての調査票について説明	三月二十四日 午後七時より九時まで 一、紙芝居 二、話し合い この頃の問題 送挙について 子供の卒業入学について 結婚式の簡素化について 三、レクリエーション
出席者数		十六名
備 考		

	民謡踊り		
四月	二十二日が集会日に予定されましたが、送 祭、各工場のお花見、メーデーの準備とが忙 しく、みんなからの要望でとりやめにした。		
五月十三日 午後七時より	一、話し合い テーマ くらしをよくするために家計簿をつけ ましょう。 家計簿をついている人の障害、難点につい て、活発に話しあいされた。	三十三名	講師 能代農業改良普及事務 所農業改良普及員 伊藤静代
六月二十四日 午後七時より 九時まで	一、話し合い。 八 家計簿をつけ、見、反省。 月末の費目別の%の出し方。 秋田県平均と自分の家計との比較	十四名	

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
	2. 新生活はどんな奥から改めよう行つたら よいか		
山形	婦人少年室関係		
一月(三月)			一月く三月迄は専任協 助員の都合により実施 しなかつた。
三月十三日			主婦の生活についての 調査実施
四月二十日	家計について 講義とはなし合い 二十名		
五月六日	手軽につくれるお祭り料理と山菜料理。 (五十五名 山神祭)	四十名	

展示と講義（二十三種）

一、季節の料理——実施（十種）

二、家計のまとめ——講義

二十三名

六月十八日

福島 婦人少年室 関係

一七 (水) 食生活改善

七十二名

一八 (木) 台所研究会

四十二名

一九 (金) 子供の育ち方と児童心理学

三十八名

二〇 (土) 主婦の知つておきたい法律について

六十九名

二一 (日) 育児、妊産婦、計画産児

二十八名

二二 (月) 家計簿記帳発表会

二十七名

二三 (火) 私達の健康について

六十九名

二四 (水) 生活改善映画

百十一名

教育大 横田佐代次氏
法務局人権課長
岩刈克郎氏
保健所

大久保健康学院主事
会社と公民館共催

期 日	指 導 項 目 及 び 内 容	出席者数	備 考
四、九(木)	嵐のぼく滅運動	各部協談	
〃一四(火)	生活改善幻灯	一〇二名	公民館より借入
〃一八(金)	家庭バレーボール指導	七一	公民館共催指導
五、二(土)	洗濯法研究会	二八	
〃四(月)	子どもの日研究会	二一	
〃一二(火)	読書会巡回文庫	全 員	公民館より借出し
〃一五(金)	敗とハイのぼく滅作業	全 員	
六、二(火)	敗とハイのぼく滅法	〃	各戸検査
〃六(土)	敗とハイのぼく滅作業	〃	役場より葉摘配布受ける
〃一三(火)	敗とハイのぼく滅を語る	七七	
〃二三(火)	夏の健康を語る	三四	

(25)

	三 二六 (木)	一 二六 (木)
生活技術向上の基礎としての家庭計画の重要性を悟らせる		
イ、安全な使用法	1、主婦の生活についての調査の実施 2、一月分燃料の復習と電気器具の概要のお話	1、十二月分の反省から出発して イ、食物についての復習 2、燃料の調査 コタツ、風呂等種々の効率研究 3、燃料について一ヶ月間の考察 参考資料 光熱、燃料の種々時間と効率 (枝具と燃料)
	44人	36人

期 日	三、 二六 (木)	四、 二四 (金)	生活技術向上の基礎としての家庭計画の重要性を悟らせる爲に	
指 導 項 目 及 び 内 容	Aと觸光の關係や電灯より電熱を使 用する場合の常識等 口、アイロン、電気コンロ掃除器、ト スター等構造の簡単な分解説明と実 習 人 前回の復習 二 衣の概況 ○ 衣の種類 ○ 合理的な着方の研究 ○ 繊維差について 繊維の種類と材料洗剤の種類々 人 工場見学と繊維についてのお話 ・見学工場			
出 席 者 数	52人		42人	
備 考	説明者 東京電力(株) 荻津営業係長			

六、二二 (月)	五、二二 (金)
に爲るせら悟を性要重の 筈計家のましと礎基の上向術技活生	
1. 工場見学の復習 2. 洗濯実習と説明 ・ 洗剤の基礎知識と繊維との関係 ・ 実習	・ 絶縁物工場 ・ 繊維についてのお話 全研究所員(理博) ・ 繊維発達の正史 ・ 製品展示説明 燃えないもの、絶縁のもの ・ 合成製品説明 テトロン (石油化学) ボンネル (アクリル繊維)
39人	96人
説明 資生堂本部製造職員 二名	

栃木 婦人少年室 関係

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
一月二十日	一、家計筈の問題について 二、人間関係について (親子の関係)	主婦 三七 事業所 一 婦少室 二 協助員 一 計 四名	
二月六日	一、家計筈のことについて 二、人間関係について 三、主婦の生活についての調査 (記入方法について説明)	主婦 四二 事業所 一 婦少室 一 協助員 一 計・四五名	
四月二十日	一、集団と個人について 二、家族のこと	主婦 五五 事業所 一	

	2. 近隣のこと 3. 内取のこと	婦少室 一 助助員 一 計 五人名	
五月一日	ものの見方考え方について	主婦 四〇 事業所 一 婦少室 一 協助員 一 計 四三名	
一月十日	家庭全済 人 家計の予算化と家計法の記入について	三二名	
三月十三日	新生活運動について		
群馬 婦人少年室関係			

新 註

指 導 項 目 及 び 内 容

出席者数

備 考

1、 虚礼廃止その他新生活運動の具体的事例
について話し合い

二八名

三月十一日

環境衛生について

1、 環境衛生講話

講師 保健所長

2、 台所改善、社宅の住い方、問題点など話
合い

四月七日

「民主主義と選挙」について講演

三〇名

講師 警察署長

五月十六日

家庭生活の健全化

二四名

1、 家庭生活の健全化

2、 社宅の人間関係の円滑化その他について

話し合い

六月八日

親の在り方について 講演

二八名

講師 中村教諭

埼玉婦人少年室関係

(33)

二月二日	○今年一年の計画 ○暮らしの計画のため方 ○家計法のつけ方 ○レクリエーション	会社側二名 主婦二名 計三名	
二月六日	○栄養献立について ○大人一人一日の栄養量 ○国立栄養研究所の献立 ○モデル地区における主婦の生活についての質問票記入	主婦三名 計三名	
三月二四日	○食物のはたらき ○赤色、黄色、緑色食品 ○つりあいのとれた食事 ○長寿と短命	会社側一 主婦四名 計五名	

期 日	指 導 項 目 及 び 内 容	出席者数	備 考
五月五日	○料理実習 ○ソーセージいかまき ○いかときゅうりの酢のもの ○肝そうとほうれんそうの油いため ○野菜ドレッシングソース	全社側一名 主婦二名	
六月二日	○料理実習 ○長崎ちゃんぽん ○やくみ漬 ○みつ豆	主婦二六名 計一六名	

北越製紙社宅

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
一月	栄養の知識 (講義)	二〇	
二月	栄養の一日必要量について	二〇	
三月	惣菜のつくり方 魚料理実習	一九	
四月	惣菜のつくり方 肉料理実習	二〇	
五月	簡易クリーニング(実習) 春広 ネクタイ 毛糸 スボン	二〇	
六月	漂白 色物の洗濯 アイロンのかけ方(実習)	八	社宅の引越し、中学校 父兄会と重なつたため 出席が少かつた

東京婦人少年室関係

昭和 三十四年 一月三十日	1. 「幼児から思春期に至るまでの性教育について」 2. 「子供の読みものについて」 特に集団住宅地における性教育について従来母親がふれたからない点を、専向の学校医を介して、具体的に説明し、又それに関連して子供の読物が決して等閑視されない点を話した。
八十名	御殿山小学校々医 島田菊枝 仮託児所開設のため女子大生四名応援、以下毎回援助している。 図書館経営 立石 多真恵

期 日	指 導 項 目 及 び 内 容	出 席 者 数	備 考
二月二十八日	「幼児の育て方から一般の子供の躾」 母親たちの相談的質問が次々に出たので、それをテーマに話を進め皆の意見を出し合せながら、よき結論に指導していった。	四十五名	立 石 多真恵
五月七日	「明るい家計」 ボーナス期と近づいたので退職後又は不則の事態にそなえて平常から家庭経済を重視すること。 「そなえあれば憂なし」を説く。	七十名	山一証券株式会社 経済調査課長 正 村 賢 一 電子計算部第一課長 河 波 紀 彦 調査部員 三 上 晴 久
六月十三日	「家計笈のつけ方」 前回の話と関連して、生活設計の基礎となる	六十名	日本体育短大家政科講師 末 広 和 子

	六、二七七	家計送のつけ方及び費用のわけ方を指導する 「内取の手引と実地指導」 内取の実態を話し実地指導を行つ。
	八十名	内取公共取集補算所長 清水 敏 郎 業務係長 山 田 静 蔵田 繭物研究会長 蔵 田 清 子 他 三 名

神奈川婦人少年室肉保

期日	指導項目及び内容	出席有数	備考
三、三十一	指導項目 料理 講師 栄養士 前川喜美子 内容 I 講義 - 健康と栄養素について - 食生活の改善のポイントについて - 合理的な食事の栄養について II 実習 - 玉子のスープ - 炒め焼き - 中肉のシタウ - リンゴのクリームかけ	三十八名	担当者 島崎はま 婦人問題相談員 注 母在協助員の事 故
五、十九	指導項目 料理 講師 栄養士 前川喜美子	二十名	担当者 島崎はま

	六 八
内容 I 講義 。蛋白質とビタミンについて 。合理的な食事の原型について II 実習 。クレンプアラノルマシデー 。あちの野菜焼 。キマベツのスーパ	指導項目 料理 講師 和奈川県農産加工指導所長 内容 I 講義 。夏みかんの見分け方と利用法
	十八名
婦人問題相談員	担当者 島崎はち 婦人問題相談員

期 日	指 導 項 目 及 び 内 容	出 席 者 数	備 考
	II 実習 。 ママレードの作り方 。 苺ジャムの作り方		
六十八	指導項目 料理 講師 沢養士 前川 喜美子 内 容 I 講話 。 蛋白質を多く含む食品について 。 合理的な食事の類型について II 実習 。 ドライカレー 。 ヨンキー 。 冷しゃば	十八名	担当者 島崎 はま 婦人問題相談員

二、二七 指導項目 家計

講師 友の会 高野 知子

内容

- 。家計の目標
- 。家庭経済の理想

二十三名 担当者

堀内 茂枝

協 助 員

六・三 指導項目 洋裁

講師 二瓶 さと子

内容

- 。各人の原型製図
- 。ブラウスの作り方説明

十二名 担当者

藤 林 恭子

協 助 員

堀内 茂枝

協 助 員

六・五 指導項目 洋裁

講師 二瓶 さと子

内容

- 。ブラウスの作り方 (実習)

市地の裁断

六名 担当者

藤 林 恭子

協 助 員

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
六・十	指導項目 洋裁 講師 二瓶 さと子 内容 。ブラウスの作り方（実習） - 仮縫い - ミシンかけ順序について	六名	担当者 藤林 恭子 協助力員
六・十二	指導項目 洋裁 講師 二瓶 さと子 内容 。各人の原型製図 。ブラウスの作り方説明	担当者	藤林 恭子 協助力員 堀内 茂枝 協助力員
六・十七	指導項目 洋裁 講師 二瓶 さと子	八名	担当者 堀内 茂枝

	内容 。ブラウスの作り方(実習) 布地の裁断		協助員
六・十九	指針項目 洋裁 講師 二瓶 さと子 内容 。ブラウスの作り方(実習) 仮縫い ミシンかけ順序について	七名	担当者 藤林 恭子 協助員
六・二十四	指針項目 洋裁 講師 二瓶 さと子 内容 。各人の原型製図 。ブラウスの作り方説明	十名	担当者 藤林 恭子 協助員 堀内 茂枝 協助員

期日	指導項目及び内容	出席者数	
六、二十六	指導項目 洋裁 講師 二 班 さと子 内容 。ブラウスの作り方(実習) 布地の裁断	九名	担当者 藤 林 恭子 協 助 員 堀 内 良枝 協 助 員
六、三十	指導項目 洋裁 講師 二 班 さと子 内容 。ブラウスの作り方(実習) 仮縫い ミシンかけ順序について	担当者	藤 林 恭子 協 助 員 堀 内 良枝 協 助 員
七、三	指導項目 洋裁 講師 二 班 さと子	担当者	藤 林 恭子

内容

○ グラウスについて満評
受講者が製作品を仕上げて持参する

堀

協 内 協
助 茂 助
員 枝 員

静岡婦人少年室関係

一
三
十

ノ 一 取 講 義

栄養学概論

2 料理実習

(1) 炒飯

(2) 牛肉湯

七
四

期 日	指 導 要 目 及 び 内 容	本 席 者 数
二 四	/ 料理実習 栄養料理の作り方 (1) かきの土手鍋 (2) ほづれん草のソテー (3) 魚のかざり煮 (4) 白菜のサラダ	七一
二 五	二 一般講義 家庭看護について	五五
三 十一	/ 料理の実習 節句料理の作り方 (1) 桜餅 (2) メキシコ風の御飯 (3) バナナのお冊けラタ	六五

	(4) ホールコロッケ (5) ひな卵 (6) わけぎとあさりのぬた	三・七	エ 一般講義 成人病について	四・六	ノ 料理実習 (1) 柏餅 (2) お子掬ずし	五・十四	ノ 料理実習 (1) カレーきんぴら (2) 鯉の角煮 (3) いかと野菜のサラダ
		三七		四七	講習の予定日が当該事業場のストライキのため見合せの申出があり、延期の上、料理実習のみ実施		

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
五、二七	1 料理実習 2 一般講義 食品衛生	四大	
六、一七	1 料理実習 (1) 精進巻ずし (2) 牛肉ごま煮と胡瓜酢のもの (3) 豚鈴薯の三色汁 2 話し合い	三七	

新 潟 婦 人 少 年 室 関 係

一・二十六

料理実習

「冷凍サンマのポテトフライ」

一九

期 日	指 導 項 目 及 び 内 容	出 席 者 数	備 考
二・二十	料理実習 「千種揚げ」	一〇	
三・十三	料理実習 「あじの野菜あんかけ」	一八	
五・十八	料理実習「さばの松前むし」 材料の栄養についての話	一九	
五・二十二 (昼)	料理実習「いわしの蒲焼」 「たつた揚げ」 材料の栄養についての話	一八	
六・十六 (昼)	料理実習「あじうの花あえ」 「ケジュレー」 材料の栄養についての話	一五	
ク (夜)	ク	一六	
ク (夜)	ク	一六	

富山婦人少年室 関係

二・一〇	① 社宅に住む妻の意見についての調査結果 報告——富山婦人少年室 ② 家計筈のつけ方とその必要性について (友の会家計筈テキストによる) ③ 主婦の生活についての調査実施 (本省指示によるもの) ④ 資料配布 我が家の家計筈体験談 日本銀行提供のもの	一五	友の会富山支部長 福島 八車子
三・一〇	① 栄養のお話 (成長期の子供と筋肉労働者のためには常時の料理に工夫が必要であることが強調さ	三〇	

期 日	指 導 項 目 及 び 内 容	出 席 者 数	備 考
五・一六	① 梅雨期の食生活 (油物を平素より余計摂る必要がある) ② 梅雨期の料理実習 鰯のさらさ揚 ロールキャベツ 厚焼卵 たゞきごぼあ 五色の酢もの 夏ミカンゼリー ○ 好み串カツ ウインナーとギンナン揚げ ハム巻きカキ ○ 常時の料理の実習 ○ いかの穂わらび焼き ○ 五色玉子	六〇	

石川婦人少年室関係

期 日	指導項目及び内容	出席着数	備 考
一月十一日	料理講習 家計簿のつけ方	二十三名	
二月二十三日	料理講習	十一名	
三月十五日	料理講習 石川整肢学園見学	二十名	
四月十九日	料理講習 座談会「近頃の子供と青年」について	十五名	
五月十七日	料理講習	十五名	
六月二十一日	羊裁講習	十八名	

福井 婦人少年室 関係

三四 一二三	家計筈のつけ方について	二三名	講師
三四 三二三	記入実習と懇談 児童心理について講義と質問	一八名	中央児童相談所判定 指導係 中野 幸男氏
三四 四一一	少年期の扱い方 導き方について講義と質問	一〇名	講師 草の実保育園々長 佐々木 勝順氏

長野 婦人少年室 関係

三月十九日

家計へ家計のため方、家計筈のつけ方

三九名

期 日	指 導 項 目 及 び 内 容	出 席 者 数	備 考
五月二十日	料理（辨当の副食、成人労働者と栄養）	二八名	
六月二十四日	料理（季節のとうざい料理）	三五名	

愛知婦人少年室関係

六月八日	母と子供の向題	三五名	
------	---------	-----	--

三重婦人少年室関係

一月	家庭経済	主婦 二〇名 関係者 三名	友の会 堀田 静代
二月	反抗期の子供の 扱い方	主婦 四五名 関係者 三名	四日市保健所予防課長 相原 岬二

三月	四月	五月	六月
子供に楽しく 学習をさせるには	家族ぐるみのレクリエーション ○新しい家庭婦人のあり方	梅雨どきの 家族の健康	夏の涼しい 衣生活
主婦 三〇名 関係者 二名	主婦 四五名 関係者 三名	主婦 二名 関係者 三名	主婦 三〇名 関係者 四名
三重県ガールスカウト 推進委員 新井 春子	三重県婦人少年室協働員 石川 まさ子	三重県婦人少年室 婦人問題相談員 今村 房	

滋賀 婦人少年室 関係

一月二十日	二月七日
寒い夕餉の献立 盆めし 辨当の惣菜おやつ	ちらしずしの集い
三〇名	三六名
	実習後全員試食

期 日	指 導 項 目 及 び 内 容	出 席 者 数	備 考
三月十九日	附合せ清汁 楽しいピクニックのお弁当 押ずし 一口サンドイッチ サラダ 夏み かんゼリー	一七名	
四月二十日	子供の日の料理 野菜スープ ハムライス盛合せ	二四名	
五月二日	初夏の食事 冷し中華そば、水羊かん ビールのつまみもの	二七名	実習、試食
六月八日	鯊の主人かんあげ、公巻揚げ、三色サンドイッチ	二七名	実習、試食

二月二八日

家庭生活の合理化について

1. 家計の合理化

大阪における平均家計の説明家計予算の

参考のための具体例について

食費の内訳献立例について発表

2. 衣料生活の合理化

中学生（女子）の場合の年間衣料計画反

び作品展示

3. 食生活の合理化

私達の日常生活を振り返って（座談会）

二月五日

青少年の心理と子供の育ち方について

小学生の作文集「石けり」（夫婦喧嘩につ

いての科集）を中心に講師主婦が検討した

四五名

指導講習

大阪友の会々員

平尾カズ工氏他三名

六五名

講師

大阪婦人少年室協助力員

朝日新聞論説委員

坂本 肇 氏

期 日	指 導 項 目 及 び 内 容	出席者数	備 考
三月二十五日	婦人週向について 玉水婦人会の現在及び今後の在り方について 電気の知識及び電気器具の正しい扱い方について 電気の性質について 積算電力計のよみ方について 家計簿と電気料金 直流と交流について 住宅の電気設備 その他	五〇名	講師 大阪婦人少年室長
五月二十七日	アイロン、差込修繕の仕方について(実習) 社会人として必要な教養講座について 育児知識について (乳幼児の養育の問題)	六〇名	指導 関西電力株式会社 大阪北支店 島本順三氏他四名
六月二十日			開催地の都合により七月に延期

兵庫婦人少年室関係

一月	冬休み		
二月	料理実習のみ	A三四名	滝川とよ、神戸友の会
	カレーライス サラダ場パイ	B五四名	リーダー
三月	チラシ寿し、黒かね	A三四 B四三	
四月	トマトライス	A二八	
	孔雀卵とポテトサラダ	B四二	
五月	サンドウィッチ	A二七	
	フルーツ密豆	B四一	
六月	支那料理	A二六 B四一	

注 AB二組にわけて実施している。

奈良婦人少年室関係

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
三月十日	料理、講義 1、栄養知識一般 2、料理するまで 実習 桜了し	十二名	
六月十日	料理、菜、馬鈴薯、柏焼、飲物、黒豆、ジュース、菓子、笹舟、水晶羹	十六名	

和歌山婦人少年室関係

一月二十日	モデル地区における主婦の生活調査 調査票への記入法の練習になり、家計法を記入しなければならぬと云う意識をよんだ。	九十戸につき	
-------	---	--------	--

二月	支那料理（栄養智識）	五〇名	割烹学校先生三名
三月	講演 児童心理について	三〇名	小学校長
四月	料理 おべんとうのいろいろ	五五名	栄養士
五月	社宅内の奉仕作業、清掃、消毒	全婦人会員 九〇名	
六月	子供のしつけについて 環境衛生のはなし	四〇名 三〇名	教育局指導室 東指導主事 大和紡医局 医師

息取 婦人少年室関係

二月十八日	食生活の改善及懇談	グループ員 十二名	
(目)	調理実習		
二月二十日	食生活の改善及懇談	十二名	
(目)	調理実習		
三月十三日	一、講演	十八名	

期 日	指 導 項 目 及 び 内 容	出席者数	備 考
(金)	演題「子供のしつけ方」 講師 鳥取県立中央児童相談所長 話し合い		県立中央児童相談所長 谷 本 富 蔵 お花の福古(毎月二回)の要望あり
四月七日	い け 花 の 指 導	九名	婦人問題相談員
(火)	い け 花 の 指 導	七名	婦人問題相談員
(火)	食生活の改善反懇談	一四名	吉 村 智 子
(日)	調 理 実 習	八名	婦人問題相談員
五月八日	い け 花 の 指 導	八名	吉 村 智 子
(土)	い け 花 の 指 導	八名	婦人問題相談員

六月二日	又	いけ花の指導	へ名	吉村督子
八				
一六日	又	いけ花の指導	へ名	吉村督子
二八日		話し合い	九名	婦人少年室長
三		技術指導のあり方について		堀田福子

島根婦人少年室関係	一年向家事予定	三二名	講義

期 日	指 導 項 目 及 び 内 容	出 席 者 数	備 考
二月二十五日	料理実習 おやつづくり方	六〇名	
三月六日	講 演 婦人向題について	八五 "	講師 評論家 山川 菊栄
四月二二日	簡易クリーニング実習	六七 "	
五月十三日	料理実習 魚料理	三七 "	
六月十二日	料理実習 おべんとうのおかず	五六 "	
一 月	家 計	三〇名	
広島 婦人少年室 関係			

山口 婦人少年室関係

五月	三月	二月
惣采向料理	食物と栄養	衣類整理
五〇名	五〇名	四八名
(補助員手持ちのもの へ菜品、器具など) がつた。		

二月二十日		
季節惣菜料理実習	鮭の白菜巻	鮭のカレー場
	マカロニケチマツプ和	ほうれん草ソテー
	白菜緑酢和之	外 弁当向二品
	折詰料理実習	
		四一名

期 日	指 導 項 目 及 内 容	出席者数	備 考
三月二七日	巻寿司 ソーセージ 野菜の串揚 矢羽根はす 折詰 たまご すりみ パン三色揚 みかん よせ物 りんご 菊花 かまぼこ	四〇名	
四月二七日	衣類整理 冬衣類のしまい方 簡易クリーニング 伸子張り	一八名	雨天のため集合遅し
五月二九日	季節料理実習 菊花とうふ えびあんかけ 拌三糸 とび魚 ホワイトソース煮 えびピラフ	四十二名	

六月二十日

愛媛婦人少年室関係

一 食生活改善

一 やさしい栄養の知識 (講義)

協助力 担当

一 グループを育てるには

一 懇談

室長 担当

二五名

高知婦人少年室関係

二月十八日

午後七時

準備のための懇談会

現在の生活について自由に話しあつた。

三七名

期 日	指 導 項 目 及 び 内 容	出 席 者 数	備 考
三月十四日 午後七時 十時	主婦が苦悶していることが懇談の中心であつた。家計が楽になるにはどうすればよいやという問題も肉心のあることは感じられたが生活をあまり話したくないという、かたくな気持があつて具体的発言にならなかつた。 講演と話しあい 県内の婦人学習活動について、生活指導への関心を高めるために、学習活動によって婦人の家庭生活の高められた具体例をいくつか話しその必要性を説明した。 エ 子供のしつけと母親のあり方	三二名	

	現在の子供の心理状態 母親に対しての考え方を話しそれに対して母親として考えるべき問題を投げる。 その後具体的な問題について話し合う。		
四月二十五日 午後七時 九時	基本的人権について スライドを中心として講演 三月の実施内容から当然関連して考えて行かねばならない問題であるが問題をわかりやすくするためにスライドを使用し、スライドの内容を中心に話しをすすめた。 1. 憲法に保証された基本的人権について 2 身近な問題として家庭生活はどうあるべきか。 3 生活をよりよくするための生活改善に	三四名	スライド 社会教育課より借用 幻燈機 会社より借用

期 日	指 導 項 目 及 び 内 容	出席者数	備 考
五月十六日 午後七時 九時	家事と健康 スライドによる講演、実習 生活改善の一番う組みやすい問題であり労働者家族にとって最も大切な健康の問題を とり上げ スライド 「家事と健康」 「職場と健康」 。 基本的人權の尊重 。 新しい家、良い家庭 。 一升飯の吾作 使用したスライド ついて	二三名	スライド 社会教育課より借用 幻燈機 会社より借用

を中心に考えあう。 疲れをほぐす簡易な体操の実習	一七名	レコード 蓄音機 会社より借用 講師 社会教育指導主事 島崎英夫氏
六月二十日 午後七時 主婦のレクリエーションについて話しあいと 実習 九時 家庭を明るく楽しくするために如何にレクリエーションが必要かについて話しその後 実地指導 ゲーム、歌 おどり みどりの丘 だるまさん 指の動し方 珍句 娘が来てから		

福岡婦人少年室関係

期 日	指 導 項 目 及 び 内 容	出席者数	備 考
一月二九日 十時～ 十二時	◎指導項目（各自記入した家計簿用紙持参） (一)家計簿記入上の困難点について 。収入が一定せず予算がたたないのをどうするか。 。家族の意見がまとまらないのをどうするか。 。夫の協力が無いのをどうするか。 (二)全 疑問について（費目のわけ方） 。鳥のえさはどこにつけるか。 。夫がパチンコのもうけで買つて来たものは？ 。デパート友の会費は	八名	大雪で出席困難

。学校の運動会などの弁当、菓子代は？

(以上実地指導)

(三) 家計に対する考え方について

(四) 食生活に関する考え方について

(五) ボーナス(昨年十二月)の使い方について

◎ 右の項目に対してこの会で指示し、又は指導した主な内容

。家計簿は日誌の代用にもなるのでその日のことはその日につけて生活の記録としよう。

。男性にも小使い帖をもたせるとよい。

。物価の動きなどに男性も知識をもつよう

主婦が話し合いの機会をつくっていく。

。子供にもこずかい帳をつけるよう小さい

期 日	指 導 項 目 及 び 内 容	出 席 者 数	備 考
	時からのしつけが大切、子供には子供としての予算生活を習慣つけさせよう。 ○老後のためにはつきり枠を作つて貯金すべきだ。 ○人參等をきうう子供のために離乳期から心かけてゆこう。 ◎参加者の意見へ主なもの ○家計筈などつける必要がないという者がいる。 ○坑外夫の家庭（給料の少い方）ががっちりし、坑内探炭（多い方）は借金も多く家計がルーズである。 ○米を腹一杯たべる習慣のため主食費がと		

二月二十三日 十時 十二時	
討 副食費についての考え方	でも大きい。 。ポリーナスをあてこんで先買いしているの でもらったらとたんに払い出す。 。子供がきらうもの（人参等）を食べさせ なくともいいのではないか。 ◎研究課題 。会社購買部の価格は妥当かどうか。他と の比較 。他の会社等で購買部に対する援助の方法 はどのようなになっているか。 ◎指導項目（各自記入した家計簿用紙を持参） （一）主食費が副食費より多いことについての検
	一二名

期 日	指 導 項 目 及 び 内 容	出 席 者 数	備 考
	(三) 子供と食事 (四) 子供と家計筈 (五) 夫婦生活と家計筈 (六) 交際費についての考え方 ◎ 右の項目に対しこの会で指示し又は指導した主な内容 ○ 家計を生み出すのに副食費を真先にけする という考え方を改めてゆきたい。 ○ 完全給食を経た小学生が中学校にすすんで給食がなくなつた場合母親が充分に注意を払わないと子供は空腹感から犯罪をおかしくなる。中学生の万引などはひもじさから来るものが多いとのことだ。		

。両親のよい経済生活はそのまま子供の手
本になつて将来のよき家庭の礎となる。

。夫を楽しませる予算設計を立てて頂きた
い。

。虚礼廃止に賢明になろう。

◎参加者の意見へ主なもの

。主食に米をたべることが一番かんたん。

。満腹感があるので、米に頼り過ぎる。

。子供は学校で栄養について習っているの

で、むしろ母親が意見される。

。小学校で給食があると子供がおやつをね
だらない。

。学校給食を家庭の中にとりいれたい。

。小学校五年の社会科で生活の予算につい

小学校児童の生活作文
数篇をよみあげて子供
が家計をどのように見
つめているか例をあげ
る。

期 日	指 導 項 目 及 び 内 容	出 席 者 数	備 考
	て習っている子に対し、お母さんがしつかりしてないと子供が学校ではじをかく と思った。 この炭坑の給料は妻が受取りにゆく様にな っているの夫がかくし錢をすること は出来ない。 一寸した事でやったりとつたりの交際は やめよう。 ◎研究課題 ○主食と副食のバランス調べへ各自の家計 筈から ○購買部のパン、うどん、マカロニ、スパゲッ テ イなど主食として米に代るものの値段調べ。		

	○農家の營養食について研究 ↳ 肉体労働と満腹感	一七名	
三月二十日 前十二時 十二時	テキストを配付し参加者が順次に読んでゆき 個所個所で指導し質問にこたえる方法をとる。 ◎指導項目 ○ごはんお腹一杯をやめよう。 ○食生活をよりよくする工夫。 ○子供のおやつを検討 ◎右の項目に対しこの会で指示し又は指導した主な内容 ○パンの食べ方買い方を協同的に考えあつたらどうか。 ○望ましい食生活が最低いくらで出来るかの調査をしてみることこそ主婦会という		

期 日	指 導 項 目 及 び 内 容	出 席 者 数	備 考
	協同活動の意義があるのではないか。 ○家計筈ははずかしがらずに見せあう態度が大事 ○食生活をよりよいものにするために子供の協力の場について考えてみるかどうか ○大人一人一日の食費より子供のおやつ代が高いのは考えもの、子供のこずかいが 家計の中にしめる割合を検討してみよう ◎参加者の意見(主なもの) ○麦をたべる方がいいのは知っているが、共同水道のところで麦を洗っていると蔑まれる。麦を混ぜた弁当は、はずかしがつて持ってゆかない。みえで米ばかり		この会で次の様な質問があった。 「夫婦と子供一人(十ヶ月)の家庭一日の副

食べている家が多いと思う。

○米は掛買が出来るので、米に頼ってしまう。

○給食を受けている子供が、日曜日の我が

家の食事をあまり食べない。好みに合わ

なくなっているらしい。

○仕事から帰って来た夫にパン食でもさせ

ようものなら、叱りつけられてしまう。

◎研究課題

○パンにぞえるおかずとしてよいもの。

○パンの共同購入はできないか。

○毎週土曜日一回ぐらいでもパン食にきり

かえられないか。

食費を一五〇円でやっているが、この程度でいいか。

尚詳しく聞いてみると子供は離乳期に入っていて離乳食は每晚一片のカステラパン(十円)という。子供には湿疹が出来ており顔がむくんでいた。

早速V.C.を指導し十円で出来る離乳食を教え今まで子供にのませていたという。

期 日	指 導 項 目 及 び 内 容	出 席 者 数	備 考
四 月			ビタミン剤月一の〇〇円 を家族の食生活向上に 繰りいれるよう指導し た。 地方送拳のため会を休 む。
五月二十五日 十時～ 十二時	主婦会の要望で全炭婦家計筈コンクール応募 者に対する記載指導を行う。 ◎指導項目 。労組費 健康組合員等のつけ方 。その他記載上の疑問について ◎右の項目に対してこの会で指示し又は指導 した主な内容	九名	

六月八日 十時 十二時	
前回に引き続き記載指導 ◎指導項目 ○コンクール応募原稿のまとめ ◎右の項目に対してこの会で指示し又は指導	○労組費については家計の中にしめる割合を明らかにするためにも一項目を設けた方がいいのではないか 労組主婦会の意義を明らかにした方がいい。 ◎参加者の意見（主なもの） ○家計簿は誰にもみせたくないと思つている者が多い。 ○家計簿を公表すると近所の噂の的になる ○おそれがあるのでコンクール応募は偽名が匿名にしたい。
九名	

期 日	指 導 項 目 及 び 内 容	出 席 者 数	備 考
	した主な内容 。無計画さや浪費も卒直に書き出してあり のままの姿を見せるべきで真剣な生活態 度はありのままをみつめあう事にあると 思う。 労組のコンクールには貯蓄会などがする コンクールとは異った意義をもたせよう。 ◎参加者の意見 。家計筈をつける時間が相当かかることに 驚いている。床に早く入れと夫から叱 られるのをふり切って記入している。 家庭騒動が起らないか心配 。つてみるとなみなみでない苦心を払わ		

	ねはならず、やせる様な思いをしている。 。講習会を用いている以上多数応募したい。		
--	---	--	--

二月二十日	佐賀婦人少年室関係 明るい人間関係について	二四名	佐大文理学部助教授 中尾英俊 (民法、法社会学専攻)
-------	------------------------------	-----	----------------------------------

二月四日	長崎婦人少年室関係 家計簿の記入指導 協助員考案による家計簿の記入方法を指導	二二名	
三月十五日	鯨料理実習	二〇名	

期 日	指 導 項 目 及 び 内 容	出席者数	備 考
四月十日	坑内食（辨当）研究 炭砒内で働く肉体労働者のために喜ばれる 坑内での弁当について講義	二一名	指導者 日鉄鉱業御橋砒主婦 会長。
五月二十五日	坑内食（弁当）を中心とした料理実習 四月の講義を実習したもの	一八名	

熊 本 婦 人 少 年 室 関 係

四月二十五日	主婦の経済生活について ノ家計簿のつけ方 ニ家族計画について	二五名	講師指導 成松 ツヤ 添付もの
--------	--------------------------------------	-----	-----------------------

三月四日	項目
講義及び実習 家庭経済	内容
ハの名	・ニグループにしたため 専任補助員の他に当室 婦人問題相談員（高校 家庭科講師）に依頼し

大分婦人少年室関係

五月十九日	3. 内払について 4. 台所の科学化について 5. 物資協同購入について 6. 労働者家族の一日の栄養料理と一ヶ月後 と一日の栄養料理と一ヶ月の收支決算表 栄養料理の作り方実習 試食
三〇名	人指導員の献立表 2. 全じく五月分の収 支決算表 キッチンカーによって 実習

期 日		四月二十七日
指 導 項 目 及 び 内 容	1. 家計アンケート 2. 講義及び資料説明 国民経済白書 勤労世帯収支分類表 3. 家計について懇談 4. 家計簿記入の指導	項目 講義及び実習 家庭経済 内容 1. 家計法の整理 会計期現金出納帳の締切
出席者数		五三名
備 考	たこと。 立案は室長、専任協働員、婦人問題相談員三者の協議としたこと 役 員 婦人問題相談員 小野本ウメ	

六月一日	五月二十日	
項目 講義及び実習	項目 実態調査 労働者家族の生活実態調査 内容 本省指示令 世帯数九〇名につき	年末計算表 2. 質疑 3 家庭経済の合理化 収入の増加、支出の合理化 4 予算生活の意義とその実行 予算のしくみ、予算のたて方、予算の実行
四六名		

期 日	指 導 項 目 及 び 内 容	出 席 者 数	備 考
	家庭経済 内容 1. 家庭経済と国民経済について 将来に備えるための家庭経済について 家計簿の記入 2. 料理実習 勤労者家族のためのアジと鯨肉を使った夏高きの献立四種目		

二月六日	宮崎婦人少年室関係 家計に關すること 座談会	主婦二五名 分組一名	
------	---	---------------	--

	家計筈記入を継続するために、家計筈の功、 予算の立て方、収入の項目別配分率 アンケート	会社側 厚生係 一	
三月六日	食生活に關すること 講義 1. 家計にしめる食費の割合 2. 家庭にあつた食費のとり方 3. 健康と食事 4. 正確な量目……（実習を併用） 5. 現在の日本人の食生活の検討 （我々）	主婦 一五名 労組 一名 厚生係 一名	
四月十四日	食生活に關すること 講義 1. 食卓を豊かにする保存食について	主婦 一〇名 厚生課 一名	

期 日		
指 導 項 目 及 び 内 容	2. 計画性のある食事と買物について 座談 ノ家計とにらみ合せた献立のたて方 次回アンケート 実習 ノ家庭料理コンクール 試食後座談（料理は宿題で当日各人が持参）	五月十一日 食生活に關すること ○家庭料理コンクール 試食後座談（料理は宿題で当日各人持参） 座談 子供の教育しつげに關すること アンケートに現れた問題について
出席者数		主婦 一二名
備 考		講師 児童相談所 藤 戸

	六月十六日
司会 藤戸先生 映画	子供の教育しつけに關すること ハアンケートに現れた問題について 2. 心理調査について 用具展示を併用 3. 学令前の子供 4. 小学校時代の子供 5. 中学校以上の子供
	主婦 一三名
	講師 右と同じ

